

めぐみ厚生センター センターだより

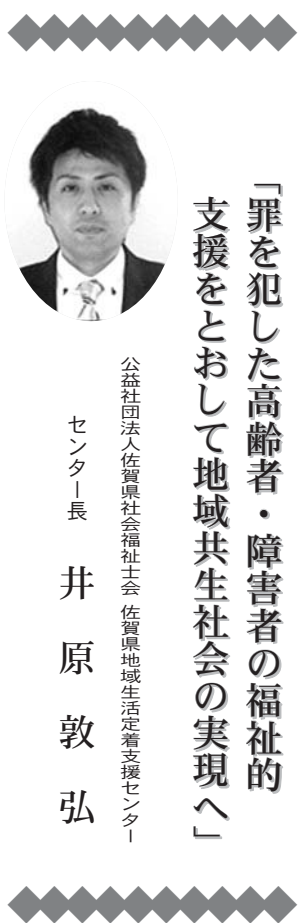
第 406 号
発行 2025年4月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

皆さん、刑務所の中に高齢者や障害者が一定数収容されていることをご存じでしょうか。平成十五年頃、刑務所の中にたくさんの方の障害者がいるという噂が広がりました。実際に処遇を担当した方の手記の中で「刑務所が福祉の最後の砦になっている」という現状が明らかにされました。平成十八年一月、山口県で起きたJR下関駅放火事件で逮捕されたのは知的障害がある七十四歳(当時)の男性でした。この男性は、これまで人生の約五十年間を刑務所で暮らし、「刑務所に帰りたいかった」という理由で放火に至ったという衝撃的な事件でした。この男性は療育手帳を所持しておらず、福祉とは無縁でした。このような状況を受け、厚生労働省では平成十八年四月「罪を犯した障害者の地域生活支援に関する研究」が開始されました。この研究事業によって、罪を犯した高齢者、障害者が刑務所を出所した後、安定した生活を送るためには特性に応じた支援が必要ということが明らかになりました。



「罪を犯した高齢者・障害者の福祉的支援をととして地域共生社会の実現へ」

公益社団法人佐賀県社会福祉士会 佐賀県地域生活定着支援センター

センター長 井原 敦 弘

その後、モデル事業を経て、平成二十一年度から、高齢又は障害により福祉的な支援を必要とする矯正施設(刑務所、少年刑務所、拘留所及び少年院退所者等)に対し、保護観察所と協働し、退所後直ちに福祉サービス等を利用することができるよう支援する「地域生活定着支援センター」の整備がなされました。

佐賀県では、平成二十一年十二月に公益社団法人佐賀県社会福祉士会が県より同センターの運営業務を受託し、現在十六年目を迎えています。

刑務所の面会で、ある知的障害を有した支援対象者(受刑者)がこう言いました。「逮捕されたあと弁護士が何回も会いに来てくれて嬉しかったとよ。だから刑務所に入るのはいくらでも最後しようと思いましたが」と話しました。この支援対象者は十回ほど受刑歴があり、これまで福祉の支援を拒否し自活していました。国選弁護人が拘留所に何度も足を運び優しく声をかけてくれたことが単純に嬉しく、心を打つもの

があったのだと思います。少なくとも支援を拒否していた人が支援を受け入れ立ち直りを決意するきっかけとなったのは事実です。しかし、この支援対象者が罪を犯す前に、地域住民が、あるいは福祉の関係者が声をかけ、寄り添うことができていたら、刑務所に行くことは避けられていたかもしれません。一般的に世間では、「罪を犯した人」を犯罪内容や罪名でレッテルを貼られ、先入観を持たれることは珍しくありません。私たち支援者は、犯罪行為そのものよりも罪を犯した背景要因に目を向けていくことが大切と考えています。犯罪の背景には、社会的孤立や社会的排除、生きづらさや苦しみなどがあります。支援者は、支援対象者が抱える様々な課題にどう対応するのかに目を向ける必要があります。そして、支援の目的は再犯を防止するためではなく、対象者が地域において安定した生活ができるように社会的孤立、排除、生きづらさを少しでも改善、解消していくことだと考えます。このような支援を行うためには私たち地域生活定着支援センターと地域の方々が協働しながら取り組むことが重要であると考えます。このような取り組みをおとして地域共生社会の実現に向けた地域づくりがまた一つ進んでいくと考えています。



～せせらぎ(男性棟)記念写真～



～そよかぜ(女性棟)記念写真～

四月一日(火)、めぐみ園でも新年度が始まり、午前中、辞令交付式、午後から体制発表が行われました。今年度も、よろしくお願いたします！



生活担当職員の紹介です！

新年度始まる！

めぐみ園



←福岡らしいお土産を色々購入



～龍登園での記念撮影～

一月二十九日(水)日帰り旅行として福岡ベイサイドームの隣にあるチームラボフォレストに行き、昼食は福岡シーホークでのランチbuffet!皆さん大変満足された様子でした。また、二月二十日(木)には、龍登園で二月一日から行われていた新春恒例、劇団花吹雪の若さ溢れるパワフルな舞台を楽しみました！



初めての旅行先でしたが、楽しい旅行になりました。

日帰り旅行



落ち着いて2階に避難しました

二月十五日(土)、水害対応避難訓練が行われました。各地で猛威を振るう水害。めぐみ園でもしっかりと訓練を重ねて行きたいと思えます。

水害対応訓練



赤鬼、青鬼に鬼は外～！楽しそうな笑顔がいっぱい！

二月六日(木)に節分行事を行いました。当日は職員が扮した赤鬼青鬼が館内を回り、皆さんから球を投げられ、鬼は外！福は内！の大合唱！今年一年の邪気を払うことが出来ました。

節分行事



お昼はうなぎ盛りちらし寿司！



ご家族と一緒に、楽しい時間を過ごしました～！



三月六日(木)桃の節句会が行われました。今年はお家族も参加して頂き、カラオケ大会！往年の名曲から童謡まで、短い時間ではありましたが、楽しい時間を共に過ごすことが出来ました。

桃の節句会

富士学園

楽しいお正月

令和七年一月一日（月）、皆さん元気に、新年を迎えられました。

午前中は、お部屋で正月番組を観ながらくつろがれる方、デイルームでカラオケを楽しまれる方など、それぞれのお正月を満喫されました。

昼食では、皆さんお待ちかねの、豪華なおせち弁当に舌鼓を打たれ、とても喜ばれていました。

本年も、皆さん楽しいお正月を迎えられていました。



新年 福笑い

一月二十日（月）パールライフのひかり活動科の利用者、職員の皆さんで福笑いを楽しみました。まず福笑いのイラストに好きな色を塗られていました。顔のイラストが完成されたら、職員と一緒に福笑いを楽しまれていました。思いもよらぬ形になられていた時は、皆さんで大笑いされ、楽しい時間を過ごされました。



ウイスキーピースタイム

節分

二月三日（月）に職員による鬼の衣装を着て朝の通所のお迎えをしました。皆さん驚かれることなく喜ばれ鬼へハイタッチをされるなど明るい雰囲気になりました。



今年の冬は寒さも厳しく寒暖差の激しい日々が多くありました。年明けにはインフルエンザに罹患した人や、二月末からコロナに罹患した人もいましたが、漸く落ち着き通常の生活を送れています。先人の方たちはあらゆる災いを鬼とみなし、この寒い時期の節分の厄払いを続けてこられたことでしょう。世界情勢もなかなか好転しませんが、気持ちの良い春を迎えるためにも、一年間を振り返り、来る新年度へ向けての準備と気持ちを切り替えて、心新たにスタートを迎えたいものです。

ふれあい

お悔み (めぐみ園)

二〇二四年十二月二十七日、めぐみ園で五十八年間過ごされた丸野佳恵子さんが六十四歳で亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

二〇二五年一月十一日、めぐみ園で四年間過ごされた古川郁英さんが六〇歳で亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

二〇二五年一月十六日、めぐみ園で五十六年間過ごされた小柳恵美子さんが、六十九歳で亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

新規入所者のお知らせ (めぐみ園)

三月一日よりめぐみ園に小林由依(こばやし ゆい)さんが入所されました。

聖句

それから、弟子たちに言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」

(マタイによる福音書 十六節二十四章)

古希のお祝い (富士学園)

利用者の田中龍雄様が、一月三十日(木)にめでたく七十歳の誕生日を迎えられ、古希のお祝いとして、ご本人の大好きなコーヒーを美味しく飲んでいただけるよう、コーヒーメーカーの贈呈式を行いました。いつまでも元気に長生きしてくださいね。



新任職員紹介

めぐみ園

生活支援員 亀山 愛美



思いやりを忘れず、利用者様が安心して生活できる丁寧な支援をさせていただきます。

富士学園

生活支援員 片刈 広基



利用者の方一人ひとりの笑顔を大切にして、その人らしい生活を過ごせるよう丁寧に寄り添う支援を心掛けたいと思います。

ワクチン接種 (富士学園)

二月十九日(水)この日は希望された方に対し、新型コロナウイルスのワクチン接種を行いました。定期的に行うことで万全の状態です活して行きましょう。



お別れ会 (富士学園)

十一月二十七日(水)に天に召された故柳田秀子様のお別れ会が、一月二十九日(水)にふれあい館にて、しめやかに執り行われました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



皆様ありがとうございます (一・二・三月份)

- ◎めぐみ園へ
 - 丸野佳孝様より 寄付
 - 小柳芳隆様より 寄付
 - 永尾耕三様より 寄付
- ◎富士学園へ
 - 永尾耕三様より 寄付
 - 松本榮次様より 寄付

何でもコーナー

世界の新年度

めぐみ厚生センターでも、新年度が始まりました。日本では、多くの方々ととって四月が新しい始まりの月となっていますが、四月から新年度が始まる国は世界的には少数派。特に学校の新学期が始まるのは九月が圧倒的に多く、英語圏の国々では、アメリカ・カナダ・イギリスなど、ヨーロッパの国々ではフランス・ベルギー・イタリアなど、中東の国々では、イラン・サウジアナなど。

日本でも一部大学で秋入学が導入されていますが、やはり多くの方にとつて、新年度は春！
二〇二五年度も新しい目標を持って進んでいきましょう！



あ と が き

新年度も始まりました。今年度よりセンターだよりも四月始まり。四・七・十・一月に発行し、めぐみ厚生センター各事業所の様々な出来事を皆様にお伝えいたします！